

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局文化部文化企画課 教育委員会中央図書館庶務課
評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	①北九州市立黒崎文化ホール (黒崎ひびしんホール) ②北九州市立八幡西図書館	施設類型	目的・機能
	所在地	① 北九州市八幡西区岸の浦二丁目 1 番 1 号 ② 北九州市八幡西区岸の浦二丁目 2 番 1 号	I I	④ ⑤
	設置目的	① 演劇、音楽その他の利用に供することにより市民文化の向上に資する。 ② 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する (図書館法第 2 条)。		
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制 インセンティブ制 <input type="checkbox"/> 有・無 ペナルティ制 <input type="checkbox"/> 有・無		
指定管理者	名 称	株式会社黒崎コミュニティサービス		
	所在地	北九州市小倉北区米町二丁目 2 番 1 号		
指定管理業務の内容		1 市が定める業務 (1) 黒崎ひびしんホールの管理運営に関する業務 (2) 貸館に関する業務 (3) 芸術文化事業の実施に関する業務 2 教育委員会が定める業務 (1) 八幡西図書館の管理運営に関する業務 (2) 読書奨励等に関する業務 (3) その他業務 3 提案事業		
指定期間		平成 24 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		33
(1) 施設の設置目的の達成	35	3	21
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
① 【黒崎ひびしんホール】			
＜大ホール＞目標値に対する比較（稼働率）			
稼働率	H29年度	H30年度	R元年度
目標値	65%	65%	65%
実績	61.7%	63.0%	54.8%
達成率	94.9%	96.9%	84.3%
＜中ホール＞目標値に対する比較（稼働率）			
稼働率	H29年度	H30年度	R元年度
目標値	70%	70%	70%
実績	78.1%	73.3%	69.5%
達成率	111.6%	104.7%	99.3%
＜練習室＞目標値に対する比較（利用者数）			
稼働率	H29年度	H30年度	R元年度
目標値	40,000人	40,000人	40,000人
実績	41,607人	39,326人	40,424人
達成率	104.0%	98.3%	101.1%
<p>ホールの利用状況について、稼働率の目標値に対する達成率は、大ホールが84.3%、中ホールが99.3%であった。令和2年3月は新型コロナウイルスによるキャンセルが発生しており、3月を除く稼働率では、中ホールは76.1%で目標を達成しているが、大ホールは60.0%で目標に達しなかった。</p>			

練習室の利用状況については、達成率が 101.1%程度で目標を達成することができた。

【八幡西図書館】

目標値に対する比較（利用者数）（単位：人）

	H29 年度	H30 年度	R 元年度
目標値	320,000	320,000	320,000
実績	438,591	429,589	376,902
達成率	137%	134%	118%

目標値に対する比較（貸出冊数）（単位：冊）

	H29 年度	H30 年度	R 元年度
目標値	400,000	400,000	400,000
実績	694,835	666,416	571,687
達成率	174%	167%	143%

令和元年度の利用状況については、利用者数、貸出冊数ともに目標値を上回っているが、前年度と比較すると減少している。これは、2月28日から3月末にかけて新型コロナウイルス感染拡大防止のため図書館を臨時休館したことが主な理由と考えられる。

② **【黒崎ひびしんホール】**

令和元年度は下記のとおり、芸術文化事業を 10 事業、利用者を中心とした催しを 5 事業実施した。（全事業 15 事業、来場者 10,393 人）

□芸術文化事業（10 事業）

- 1 0歳からのジャズコンサート クニ三上トリオ（404人）
- 2 前橋汀子 アフタヌーンコンサート（468人）
～珠玉の名曲にひたるひと時～
- 3 山中千尋 トリオツアー2019（370人）
～クラシックとジャズが邂逅する自由なる音の楽園～
- 4 世襲戦隊カゾクマンⅢ 完結編（314人）
- 5 夏井いつきの「ひびしん句会ライブ」（634人）
- 6 藤原道山×SHISKE 和★SHOWA★（382人）
～尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ～
- 7 小野リサ コンサート 2019～Music Journey～（783人）
- 8 一青窈 Tour2019-2020（700人）
～窈窕關關 YO-CHO-CAN-CAN～
- 9 シプリアン・カツァリス×広瀬悦子（287人）
～2台ピアノによるベートーヴェン「第九」～

10 V.4 4人の美しきヴァイオリニスト (268人)

～悠久の響に酔いしれる～

□利用者を中心とした催し (5事業)

- 1 黒崎96の日 四代目・三遊亭圓歌襲名披露 (652人)
- 2 音の杜「FIVE」(190人)
- 3 北九州マリimbaオーケストラ RIM Concert vol.6 (782人)
- 4 新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 (2,458人)
- 5 黒崎ひびしんうたごえホール (1,701人)

※4の3月及び5の2・3月開催分は、新型コロナウイルス感染防止のため中止

□その他 (1事業) ※新型コロナウイルス感染防止のため中止

【民間企画事業】第3回ひびしんまつり～春を舞う～

令和元年度は、子どもを対象とした企画やクラシック・ジャズなどの音楽に加え、俳句や演劇など、幅広いラインナップの事業を展開した。

ボサノヴァ・シンガーの「小野リサ コンサート 2019～Music Journey～」は、最速でチケットが完売するとともに、来場者からは「心地よい歌声、繊細な演奏に心癒されました」等、多くの方に満足していただける公演となった。また、その他にも、日本を代表する国際的ヴァイオリニスト・前橋汀子によるクラシックコンサートや、ニューヨークを拠点に世界で活躍しているジャズピアニスト・山中千尋によるライブ、フランスの鬼オシプリアン・カツァリスと広瀬悦子との共演「2台ピアノによるベートーヴェン『第九』」等、充実したラインナップで来場者の満足度も高く、本市の音楽文化の振興に大きく寄与する取り組みとなった。

例年になく新しい取り組みとしては、「0歳からのジャズコンサート」では、急遽広い会場に変更して開催する等、平日の昼間にも関わらず多くの親子連れが鑑賞に訪れ、参加者からは、「子どももノリノリで楽しそうだった」、「子育て中（特に小さな子ども）の親はなかなかコンサートに行けないので素晴らしい企画だと思う」等、満足の声をいただいた。また、夏井いつきの「ひびしん句会ライブ」や、尺八とマリimbaによる世界最小オーケストラ「藤原道山×SHISKE 和★SHOWA★」等、新たな客層を対象とした多彩な事業を展開し、好評を得た。

さらに、北九州を中心に活動するアーティストで構成された「音の杜『FIVE』」や「北九州マリimbaオーケストラ RIM Concert」を開催するとともに、地域一体となって黒崎を盛り上げる「黒崎96(クロ)の日」では四代目・三遊亭圓歌による落語のステージを催した。「北九州マリimbaオーケストラ RIM Concert」ではチケットが完売する等、黒崎地区の活性化に大きく貢献した。

また、地元の音楽家を講師に招く「新きたきゅうしゅう音楽塾 in 黒崎」や「うたごえホール」には年間を通して多くの方が参加され、音楽文化の振興及び合唱の街・北九州の推進に大きく寄与する取り組みとなった。特に、「新きたきゅうしゅう音楽塾 in 黒崎」では、本市出身の高校生ピアニスト・谷昂登さん（桐朋女子高等学校音楽科1年）が出演する等、今後の活躍が期待される若手アーティストの支援にも力を

入れている。

このように、市民が優れた芸術文化に触れる機会を提供することで、本市の文化振興及び黒崎地区の賑わいづくりに大きく貢献したものと高く評価できる。

【八幡西図書館】

子ども読書推進活動として、読み聞かせ会を年間 132 回開催し、2,965 人が参加した。またボランティア団体や職員による読み聞かせを通じて子どもたちに図書館を知ってもらうことや、司書体験として、こども司書養成講座を開催し、読書に対する関心を深めてもらうのに役立った。

また、市民センターへ図書館職員を派遣し、出前読み聞かせや手遊び等を実施し、子どもたちに図書館のPRを行った。

地元大学研究機関や関連施設職員などを招き、幅広い分野で 18 回の講座を開催し、320 人の参加があり好評を得た。

また近隣の神社の宮司を招いての、元号改元をテーマとした文化講演会や大人向けの相続・遺言教室を開催するなどして、利用者が専門家の話を聞くことによって図書館の資料に興味を持ってもらえるよう促した。

開館時より、児童向け広報紙「元・キッズ 八幡西」を毎月 800 部発行し、近隣の幼稚園、小学校、市民センターに配布するとともに、新刊案内も毎週作成・配布するなどして、利用者への情報提供を行った。

また、八幡西図書館が独自に開設しているホームページ上において、新刊情報やランキング、イベント情報などの案内を行った。

③ 【ホール及び図書館共通】

「黒崎文化・交流拠点地区」は、黒崎ひびしんホールと八幡西図書館の 2 施設を一体的に管理している。

駐車場は、利用者が相互の駐車場を利用できるようにして利便性を図った（満車の場合に案内）。また、自衛消防訓練を合同で実施し、連携を深めた。

④ 【黒崎ひびしんホール】

- ・ホームページやフェイスブック、ツイッターで、イベント情報や施設案内などの情報発信を行っている。

- ・市広報、「かるかる」等の情報誌を通じて広報を実施した。

- ・市内各市民センターへイベントチラシの配布を実施した。

- ・施設命名権企業の福岡ひびき信用金庫と連携し、各支店にイベントチラシ及びポスターの配布を実施した。

- ・新聞広告・市発行広告・黒崎商店街・ラジオ出演等による広範囲な情報発信を実施した。

- ・ホール利用者友の会「ファンタジア」会員へ、毎月イベント情報及びホール催事案

内の送付を実施している。

- ・館内にデジタルサイネージを設置し、イベント情報等の案内を実施した。

【八幡西図書館】

開館時より、児童向け広報紙「元・キッズ 八幡西」を毎月 800 部発行し、近隣の幼稚園、小学校、市民センターに配布するとともに、新刊案内も毎週作成・配布するなどして、利用者への情報提供を行った。

また、八幡西図書館が独自に開設しているホームページ上において、新刊情報やランキング、イベント情報などの案内を行った。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	1 5	4	1 2
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

① **【黒崎ひびしんホール】**

＜大ホール＞

満足度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
目標値	80%	80%	80%
総合評価	100%	98%	100%
利用の問い合わせ・予約	95%	97%	99%
事務スタッフの対応	98%	99%	100%
技術スタッフの対応	98%	100%	99%

＜中ホール＞

満足度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
目標値	80%	80%	80%
総合評価	97%	94%	100%
利用の問い合わせ・予約	97%	94%	99%
事務スタッフの対応	97%	97%	100%
技術スタッフの対応	98%	98%	99%

「総合評価」での満足度については、大ホール及び中ホールとも 100%で高い評価であった。

各項目についても目標を大きく上回り、利用者の評価は高い。これからも研修など

を通じて職員の対応能力の向上に努め、利用者の視点に立った助言や支援を行うことが大切である。

【八幡西図書館】

令和元年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月28日から臨時休館となったため利用者アンケートを実施することができなかった。

それ以前（平成29年度、平成30年度）に実施したアンケートによれば、「対応の親切さ」については、回答者の9割以上が満足であると回答しており、「明確な説明」、「図書の並べ方」についても8割以上が満足であると回答しており、いずれも高い評価が得られている。

満足度	H29年度	H30年度	R元年度
対応の親切さ	91.2%	91.0%	
明確な説明	86.7%	84.0%	
図書の並べ方	80.4%	83.0%	

※満足度は、全回答者のうち、「非常に満足」、「満足」と回答した人数の割合

また、令和元年度に八幡西図書館が開催した「文化講演会」「相続・遺言教室」の際に実施したアンケートの集計結果においても、いずれも参加者の8割以上が「非常に良い」「良い」と回答するなど、利用者からの評価が得られている。

② 【黒崎ひびしんホール】

利用者アンケートに加え、窓口へ「ご意見箱」の設置し、利用者の意見に対応している。

【八幡西図書館】

2階及び3階の閲覧室に意見箱を設置して利用者からの苦情・要望・意見を広く募り、業務に生かしている。

③ 【ホール及び図書館共通】

利用者の苦情・要望等については、基本的にホール及び図書館内の協議で、場合によっては本社で対策を協議し、経費等の面も含め、意見者へ説明し理解を求めるなど、迅速な対応を図り、また、市所管課や中央図書館への報告も適切に行っている。

毎月の職員会議においても、苦情・要望に対する改善点をお互いに出し合い、職員全員で情報を共有し、即時に対応できるよう心がけている。

④ 【黒崎ひびしんホール】

ホール利用者友の会「ファンタジア」の会員に向けて、ホールに関することやイベントの情報発信を行った。また、フェイスブックを利用してイベント公演前や公演後の最新情報、近隣施設案内等の発信を行った。

【八幡西図書館】

八幡西図書館のホームページで、イベントの情報やお勧め本の紹介を行うなど常に

最新の情報発信を行った。

⑤ 【黒崎ひびしんホール】

スリッパ等物販サービス、録画・録音サービスなどを実施し、利用者の利便性を向上させる取り組みを継続して行った。

2 効率性の向上等に関する取組み

30

18

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

20

3

12

【評価の理由、要因・原因分析】

【黒崎ひびしんホール】

サービス購入料の実績

(単位：千円)

指定管理料	H29 年度	H30 年度	R 元年度
予算	180,115	180,115	181,690
決算(インセンティブを含む)	178,757	179,746	181,349
うち光熱水費 (決算全体に占める割合)	12,006 (6.7%)	11,930 (6.6%)	12,253 (6.8%)
うち再委託料 (決算全体に占める割合)	46,343 (25.9%)	46,342 (25.8%)	47,757 (26.3%)

【八幡西図書館】

サービス購入料の実績

(単位：千円)

	H29 年度	H30 年度	R 元年度
予算(インセンティブを考慮)	167,119	167,119	168,592
決算(インセンティブを含む)	167,119	167,119	168,592
うち光熱水費 (決算全体に占める割合)	5,770 (3.5%)	5,134 (3.1%)	4,665 (2.8%)
うち再委託料 (決算全体に占める割合)	14,364 (8.6%)	14,364 (8.6%)	14,497 (8.6%)

① 【ホール及び図書館共通】

施設や設備管理に実績のある自社ノウハウを生かすとともに、発注の際は必ず複数の業者から見積もりを取る。用紙等の消耗品については、一括大量購入することで費

用を抑える、等により経費の低減を図りつつ、職員にも節約を意識付けた。

② 【ホール及び図書館共通】

再委託については、委託先と年度ごとの単価の引き下げ交渉を行うことや、職員でできる業務は委託等の発注項目から削除する等、経費が最小限となるよう取り組み、費用を抑えた契約を行っている。

③ 【ホール及び図書館共通】

光熱費の節約については、

- ・デマンドチェッカーを設置し、最大電力量を抑える
- ・日中など不要な電灯は消灯する
- ・夏は窓のブラインドを閉めて室温の上昇を抑える
- ・ホールのシャワーは利用者が少ないため、利用希望に応じて湯を沸かす

等の対策を継続的に実施している。

また、要求水準を上回る司書を確保していることや、地域との連携やボランティアの活用といった市民参画型図書館の実現に努めることで、予算の低減と図書館事業の充実を両立することができた。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

10 3 6

【評価の理由、要因・原因分析】

【黒崎ひびしんホール】

収入	H29年度	H30年度	R元年度
使用料収入(決算)	46,327千円	45,589千円	42,773千円

各文化・音楽団体、学校や市内企業への訪問を実施し、芸術文化事業のイベント案内を兼ねてホール利用促進を行ったが、結果的に前年度と比べ6%の収入減となった。

原因の一つとしては、新型コロナウイルスによるキャンセルの影響が考えられる。

なお、八幡西図書館については、同施設の使用料収入はない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

20 14

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

10 4 8

〔評価の理由、要因・原因分析〕

① **【黒崎ひびしんホール】**

組織体制については、館長のほか、地域との連携を図る地域コーディネーターとして副館長、総務運営部門を統括する総務課長を配置し、効果的かつ効率的な運営に努めてきた。

【八幡西図書館】

職員 20 人中 18 人が司書資格を有しているため、職員配置の際に資格の有無を気にせず、最も合理的な配置が可能となっている。

② **【黒崎ひびしんホール】**

ホール運営スタッフは、採用時に公立文化会館運営に必要な業務及び危機管理、接遇、個人情報管理、文書管理、苦情処理、保守点検業務等の集合研修 4 日間の日程で受講している。

また、パート職員についても、業務知識、緊急対応、接遇、個人情報管理、法令遵守等必要な講習を実施している。

その他、職員相互の接客状況をチェックし改善を図るバディサポートの実施や、「あったらいいなサービス」と題してアンケート調査を行い、集計結果を共有することでサービス改善に努めた。

【八幡西図書館】

サービスの質を維持・向上していくために、館内での研修のほか、福岡県立図書館が主催する子ども読書研修に積極的に参加させることで、図書館のプロとしての意識を持たせ、利用者サービスに活かしている。

また非常時にも沈着冷静に対応し、利用者の安全確保等ができるよう消防訓練や防災訓練、他に暴力団追放研修も行っている。

③ **【黒崎ひびしんホール】**

年間を通して、それぞれの事業において、地元の音楽家を数多く出演させる等、積極的に地元との連携、協働の姿勢が見られた。

特に、「新きたきゅう音楽塾」では、地元で活躍するアーティストと協働することにより、地元音楽家へ活動の場を提供した。

また、地元商店街のイベントとタイアップした事業を企画し、連携を図った。

【八幡西図書館】

地元の小学校等からの施設見学では 1,008 人の受入を行い、丁寧な対応で図書館の PR に努めるとともに、大学生のインターンシップ受入を行うことにより次世代の人材育成を支援する図書館としての役割を果たしている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。

10

3

6

② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
① 【ホール及び図書館共通】			
「個人情報の保護に関する法律」、「北九州市個人情報保護条例」ならびに「北九州市情報セキュリティポリシー」を法的な規範として、個人情報の適正な取り扱いを確保するとともに、研修等を通じて個人情報の重要性を徹底して教育した。			
② 【黒崎ひびしんホール】			
ホールにおいて利用希望日が競合した場合は、抽選により平等な条件の下で決定するなど、適切に処理を行った。			
【八幡西図書館】			
図書館内の利用案内や注意書きなど POP を作成して周知を図るとともに、大活字本コーナーを充実させ、高齢者の利便性を高めた。			
また自動貸出機の使用方法を利用者へ案内するなど利用者が平等に利用できるよう配慮した。			
③ 該当なし			
④ 【ホール及び図書館共通】			
経理事務処理及び施設維持に係るモニタリング実施結果から、経理事務及び施設管理運営とも適正に行われている。			
⑤ 【ホール及び図書館共通】			
館内、館外の巡回の際に、危険と思われる箇所や改善すべき点について日常から留意し、必要に応じて自主的な対応を行ったほか、市所管課への報告を行った。			
⑥ 【黒崎ひびしんホール】			
危機対応マニュアルや緊急時に備えた職員の連絡網を整備し、災害等に対する職員への意識を高め、職員への周知を徹底した。			
ホールでは、各室へつながる廊下のドアには電子ロック式のセキュリティ対策を行っており、利用者以外が簡単に侵入できないよう対応した。			

【八幡西図書館】

警備員による定期的な巡回に加え、図書館職員による館内巡視を実施し、犯罪やトラブルの未然防止に努めた。

また、開館中は、館長・次長・窓口業務責任者のうち、必ず1人以上が常駐することとし、緊急時に備えて図書館職員の連絡網を整備し、災害等に対する職員の意識を高め、常日頃から職員への周知を徹底した。

⑦ **【ホール及び図書館共通】**

事故発生時や非常時については、館長、次長、ならびに窓口業務責任者は、速やかに事態を把握し、場合によっては本社と対応を協議しながら、迅速に対応を行った。

【総合評価】

合計得点	65	評価ランク	C
【評価の理由】			
1	利用状況については、図書館が利用者数、貸出冊数とも目標値を達成しているのに対し、ホールは中ホール及び練習室が目標達成できたが、大ホールは目標値を達成できなかった。前年度と較べ目標達成率が下がっているが、これは3月に新型コロナウイルスによる利用自粛要請や閉館によることが原因の1つと考えられる。		
2	ホールの自主事業について、市制 55 周年を記念したコンサートや他ジャンルとのコラボ、地元との連携企画等、幅広いラインナップの事業を展開した。 市民が優れた芸術文化に触れる機会を提供することで、本市の文化振興及び黒崎地区の賑わいづくりに大きく貢献した。 また、図書館に親しんでもらい、読書に対する関心を深めてもらうために、読み聞かせ会 (132 回開催)、折り紙教室 (15 回開催)、工作会 (8 回開催)、講座 (18 回開催)、セミナー・講演会 (3 回開催)、読書会 (11 回開催)、上映会 (3 回開催) と多数の行事を実施し、図書館の PR を行った。 以上の活動は、利用者増加につながり、また文化や読書が親しまれるきっかけとなる活動として評価できる。		
3	利用者アンケートにおいて、ホールは各項目 99%以上であり、図書館は新型コロナウイルスの関係でアンケート調査が実施できなかった。 但し、図書館の前年、前々年においては「応対の親切さ」が 90%以上、「明確な説明」と「図書の並べ方」の項目で 80%以上の回答者から満足であるとの評価を得るなど、利用者のニーズに即した質の高いサービスが提供できており、引き続き利用者満足度の向上が図られている。		
4	ホールで年間を通して実施した各事業において、地元音楽家を数多く起用し、積極的に地元との連携、協働の姿勢が見られた。 特に、「新きたきゅう音楽塾」では、地元で活躍するアーティストとの協働により、		

地元音楽家へ活動の場を提供した。

また、地元商店街のイベントとタイアップした事業を企画し、連携を図った。

図書館においては、こどもの館やユースステーションなど関連施設と行事の共有を行うなど地域との連携・協働や地域社会への貢献を行った。

また、施設見学では、積極的に1,008人の受け入れを行った。

[今後の対応]

黒崎ひびしんホールにおいては、中ホールの稼働率や練習室の利用者数は目標値を概ね達成できたが、大ホールは達成できなかった。今後は新規利用者の開拓や、より一層のサービス向上を図り、目標値の達成に期待したい。

また、ソフト事業については、引き続き、地域の芸術文化振興に寄与するとともに、黒崎地区のにぎわいづくりにもつながるよう、さまざまな文化事業を展開していただきたい。

八幡西図書館においては、利用者数、貸出冊数とも目標値を大幅に上回っており、良好なサービスが提供されている。今後も、利用者のニーズに配慮した質の高いサービスを提供していただきたい。

[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。